

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	9月	4日	(記入者) 灰藤 健一	
取材参加者	秋山	大谷	河添	神野	鈴木
	仲	灰藤	東辻		
取材対象先	三郷町：持聖院の薬師如来坐像				

所在地	生駒郡三郷町勢野東6-7-27				
所有者(取材 対応者)名	持聖院(持聖院住職夫人***様) (個人情報守秘)		連絡先：0745-43-7343 (三郷町役場)		
	PCアドレス				
取材申込	申込先-行政名など：三郷町環境整備部ものづくり振興課**課長補佐**文化財技師				
市町村 指定文化財	彫刻	1 軀	薬師如来坐像 1991(平成3)年7月1日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	元は聖徳太子が、この惣持寺村に惣持寺を建てたのが始まりで、その後荒廃していたのを鎌倉時代になって解脱上人によって建てられた。惣持寺村と薬師如来信仰と解脱上人を繋げる、この地域の特徴を表す貴重な資料として文化財に指定された。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	警備会社の感知器が備えられ、防犯と火災のセンサーが反応する。小さな虫にも反応し、警備会社から連絡があるとややお困りの話もあり。消火器も完備。	特になし。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	イタチ、アライグマは本堂の外で見かけられるが、中の文化財には特に大きな被害はない。シロアリ被害も庫裏で若干ある程度。	特になし。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	本堂は明治時代頃にはこの場所にあり、江戸時代に建立された惣持寺の大師堂とみられている。本尊は薬師如来坐像であるが、本堂には多くの仏像や厨子があり、これらは鎌倉時代に解脱上人貞慶によってこの地域に建てられた惣持寺の塔頭寺院群の仏像が集められたもの。本堂は元大師堂のため、中央に大師像が祀られているのはその理由による。ご住職夫人からは、虫対策の管理や補修には気苦労されているお話があった。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

同行していただいた三郷町役場の方からも、「持聖院さんの文化財の管理・保護については心配はしていない。何か問題があれば、すぐに連絡がある」というコメントを頂く。彫刻の修復や維持については元興寺とも連携されており、大きな問題はないと考える。
--

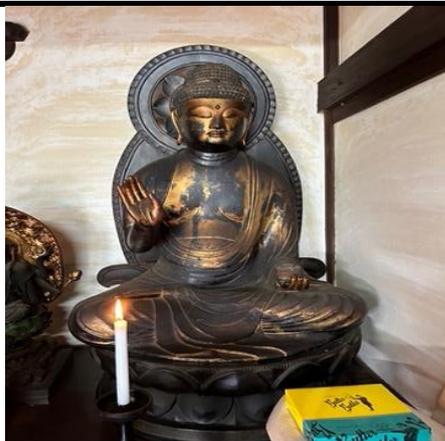
市町村指定取材票《裏》

取材日	2023年	9月	4日	(記入者) 灰藤 健一	
取材参加者	秋山	大谷	河添	神野	鈴木
	仲	灰藤	東辻		
取材対象先	三郷町：持聖院の薬師如来坐像				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 薬師如来坐像

文化財 (薬師如来坐像正面写真)



文化財 (堂内の文化財の状態)

文化財 (薬師如来坐像 角度を変えての写真)



寺内の町指定文化財(線刻薬師如来笠石仏)



文化財の由緒などを記入

一針薬師とも呼ばれている国内有数の大きさで高288cm、幅200cmの岩に、幅200cm、奥行103cmの笠石が載る。中尊に薬師如来立像、脇侍に日光・月光菩薩、周囲に十二神将を配す。平成25年に裏山にあったものを修羅を使い、境内に移動させた。下図が快慶作とも言われている。



線刻薬師如来笠石仏

所有社寺や地域 (廃寺等) の歴史や特徴を記入

持聖院の本尊として祀られている薬師如来坐像は、櫨の一木割矧ぎ造りで平安後期から鎌倉前期の作とされる。像高102.7cm、左手に薬壺、右手は施無畏印。美しい面相とともに体部の豊満な肉付や流麗な衣紋の線に特徴がある。これまで二度の補修が確認されており、右大腿部の三角材に「惣持寺御薬師如来 慶安二年(1649)六月八日」の墨書銘。(三郷町HPより)

持聖院は、中世に勢野の惣持寺地区にあった惣持寺の4塔頭寺院のひとつとして唯一残り、他の寺院の文化財の残った一部が本堂と一緒に祀られている。鎌倉時代の高僧である解脱上人貞慶の蔵骨器と、薬師如来笠石仏も本尊の薬師如来坐像とともに町指定文化財に指定されている。